

11月は

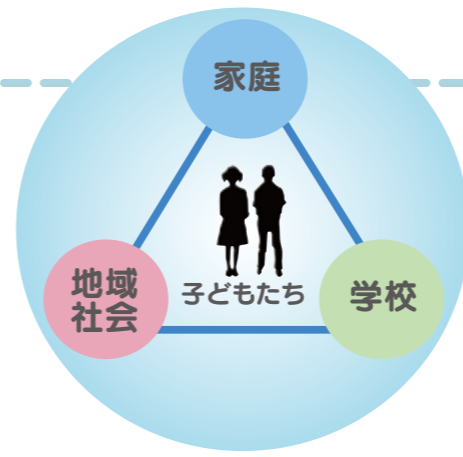
育てよう 健やかに 支えよう みんなで

「子ども・若者育成支援強調月間」です

未来を担う子どもたちが健やかに育ち、豊かな人間に成長していくことは、私たちみんなの願いです。青少年が健やかに育つためには、青少年自身の努力とともに、家庭・地域・社会の連携、協力が大切です。子どもは、親や家族との愛情による「きずな」を基礎にして、人に対する基本的な信頼関係や倫理観、自立心を身につけていきます。

学校をはじめ、地域や社会など、すべての大人は、青少年が健全に成長する環境をつくる責任があります。そして、当然青少年自身にも自分を大切に、健全な社会人となる責任があります。青少年は自分自身のために、家庭や地域は子どもたちみんなの健やかな成長のために、それぞれができることを考え、実行していきましょう。

◆こども課 内線255



家庭でできること

子どもたちが健やかに成長するための基盤は家庭にあります。最も影響を与える重要な場です。家庭でのしつけやふれあい、話し合いや相談ができる信頼関係などを再確認しましょう。

地域・社会でできること

模範を示して社会の基本的ルールを伝えるとともに、一人ひとりがそれぞれの立場で、青少年が健やかに育つための行動に積極的に取り組みましょう。さまざまな体験ができる場を設けるなど、青少年を見守り、励まし、必要な時は注意をし、有害な情報や犯罪から守りましょう。

青少年の皆さんへ

甘い誘惑に惑わされず、将来を考え、自分を大切にしましょう。不安な時や迷い・悩みがある時は、周りの大人に相談しましょう。自然体験や職業体験などに積極的に参加し、自分の可能性を引き出しましょう。人を傷つけると、自分も傷つきます。社会のルールやマナーを守り、社会の一員としての責任を自ら果たしましょう。

3減 運動に挑戦しよう!

- 減 テレビの時間を減らす
- 減 ゲームの時間を減らす
- 減 携帯電話やパソコンに触れる時間を減らす

家族で 約束を!

- 増 家族との会話の時間を増やします
- 増 予習・復習の時間を増やします
- 増 読書の時間を増やします

◆学校教育課 内線 384



11月は

STOP! 児童虐待

「児童虐待防止推進月間」です

見すごすな 幼い子どもの SOS

地域の方々の暖かいまなざしと行動が、子どもたちを虐待から守ります。子どもを虐待から守るには、早期発見、早期対応が重要です。虐待を見つけたらすぐに通報連絡してください。

児童虐待の種類

- 身体的虐待
なぐる、ける、落とす、激しく揺する、戸外に締め出すなど
- 性的虐待
性的行為の強要、性器や性交を見せる、裸にして写真やビデオを撮るなど
- 心理的虐待
暴言、脅し、無視、子どもの目の前でDVなどにより、子どもの自尊心を傷つける。
- ネグレクト(養育の拒否・怠慢)
食事を与えない、医者へ連れて行かない、学校へ行かせない、乳幼児を家や車に置き去りにするなど、子どもの成長・発育のために必要な衣食住の世話をしないで放置する。

相談機関のお知らせ

市では、「熊谷市要保護児童対策地域協議会」を設置し、地域の関係機関と連携しながら虐待などの要保護児童等に対する支援を行っています。

子どもあんしんダイヤル
048-527-2700
家庭児童相談室(こども課内)

埼玉県熊谷児童相談所
048-521-4152

児童相談所全国共通ダイヤル
0570-064000

休日や夜間は

休日夜間緊急通報ダイヤル
048-779-1154
虐待緊急通報先として、県で専用電話を設置しています。

開設日 月・金曜日18時15分〜翌日8時30分と土・日曜日、祝日

熊谷市児童福祉審議会委員の募集

「熊谷市児童福祉審議会」は、委員15人以内で組織され、学識経験者、市議会議員、児童福祉に関する団体・機関等の代表者に加え、公募による市民の代表の方から構成されます。

主な審議事項は、児童の福祉に関する事、母子の福祉に関する事、子育て支援に関する事等です。

募集要項

募集人員 2人

応募資格 本市に住所を有する満20歳以上で、子育てに関心のある方

任期 2年間

選考方法 書類審査により決定し、選考結果は応募者全員にお知らせします。

応募方法 原稿用紙2枚程度に「子育て」をテーマにした意見・考えをまとめ、住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・職業・電話番号を明記のうえ、11月18日(木)までにこども課(市役所4階)へ、直接お持ちになるか郵送してください。

◆こども課 内線289
〒360-8601 宮町2-47-1



NO MORE 児童虐待

地域の方へ

あいさつや声かけなどにより子育て中の家庭が孤立しないように見守ってください。「もしかしたら虐待かな?」と感じたら、迷わず下記までお知らせください(秘密は守ります)。

子育て中の方へ

子育てには不安がつきものです。子育ての悩みをひとりで抱えこまないようにしましょう。身近に話し相手がない場合は、市の家庭児童相談室でも話を聞くことができます。電話相談は下記へ。



10月10日 県民グライダー搭乗会

妻沼グライダー滑空場において、県民を対象とした搭乗会が行われました。めぬまグライダークラブの全面的な協力のもと、13人の搭乗者がすばらしい空の旅を体験しました。

10月3日 太田松茸道中



江戸時代に行われた献上松茸道中を再現する恒例のイベントが行われ、太田市の大光院から妻沼聖天山まで、当時の格好に身を包んだ一行が松茸を運びました。

9月29日 第2回グリーンカーテン・コンテスト表彰式



個人の部・事業所の部の各受賞者が出席のもと、市役所303会議室で行われ、富岡市長から表彰状が贈られました。

10月12日 熊谷市が「環境みらい都市」に認定されました



埼玉県庁で「環境みらい都市」認定証交付式が行われ、熊谷市は、先進的で他の模範となる地球温暖化対策に積極的に取り組む市として、上田知事から富岡市長に認定証が交付されました。

10月13日 熊谷市戦没者・戦災死没者追悼式



追悼の言葉を述べる富岡市長

戦争で犠牲になられた方々の慰霊と、世界の恒久平和を願い、今年も追悼式が熊谷会館で行われました。

10月13日 青色回転灯防犯パトロール車贈呈式



富岡市長、原島 功株式会社ベルク代表取締役社長

株式会社ベルクから、青色回転灯防犯パトロール車3台が市に寄贈されたことに伴い、市役所正面玄関前で、贈呈式が行われました。3台のパトロール車は、各行政センターに1台ずつ配置され、巡回活動を通して、市民の安全確保に役立てられます。



9月29日 吉岡中学校ハートフル・ミーティング

中学生を対象とした初めてのハートフル・ミーティングが吉岡中学校で行われ、同校の3年生と市長が語り合いました。「市長さんはどんなおさんでしたか?」「好きな言葉はなんですか?」など生徒ならではの質問もあり、市長からは質問に対する回答と、生徒への激励の言葉がありました。また、終了後は教室に移り、市長と生徒たちが一緒に給食を食べ、交流しました。



9月26日 第3回子どものための子どもによる「子どもの遊びの祭典」

NPO法人親子でつくる子育ての会わらしべの里主催のイベントが桜木小学校で行われ、子どもたちが自分たちの得意な遊びの先生となり、こま回しや工作、ダンボールの家づくりなどで楽しみました。



9月25日 電気工事工業組合熊谷支部による防犯灯の清掃

埼玉県電気工事工業組合熊谷支部の皆さんが、市と締結した防犯協定に基づき、大幡中学校ほか10校周辺に設置された防犯灯の清掃・メンテナンスのボランティアを実施しました。



9月25日~27日 熊谷市小・中学校科学展



市民体育館で、市内小・中学生による、夏休みの自由研究などの科学研究作品約200点が展示され、訪れた方々は、力作の数々を見て感心していました。

市報クイズ9月号で寄せられたご意見を紹介します。

おたよりパレット

テーマ 文化祭・学園祭の思い出

今回は「文化祭・学園祭」をテーマにおたよりをいただきましたが、学生時代の青春エピソードが満載でした。仲間と一丸となって作り上げたものは、いつまでもたっても色あせない思い出ですね。

※おたよりパレットは、市ホームページでも詳しく紹介しています ▶ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>

- 中学校の文化祭で、お化け屋敷をやりました。お化け屋敷といえば真っ暗が定番なので、理科室から暗幕を借りてきたり、段ボール箱を大量に持ち寄り、通路にしたり、とても大変だったことを思い出します。(40代・女性)
- 工業高校だったので、学園祭で機関車を造りました。遊びに来た子どもたちを機関車に乗せ、喜んでもらったことが今でも思い出されます。(60代・男性)
- 普段は早く学校から帰ってしまうけれど、文化祭の準備のときは遅くまで仲間と過ごし、楽しかったです。(30代・女性)
- 高校の学園祭で英語劇に出ましたが、台詞を忘れてしまい、頭の中が真っ白になりました。日本語のアドリブでなんとか切り抜けましたが、あとで部長に散々叱られました。(60代・男性)
- 私は音痴で、あまり人前に出るほうではなかったのですが、高校時代の文化祭では、3人組のバンドデビューをしました。本番までは毎日練習し、当日はみんなと飛び跳ねて盛り上がり、一体感を得ました。(30代・女性)

応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「来年はこんなことに挑戦!」についてのコメントを必ず記入のうえ、11月24日(水)までにご応募ください(一人につき一通)。※コメントがないものは無効となります。《応募先》
〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
☐ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp
※なお、市内の商店・企業を知っていただくという趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご利用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

9月号の正解 ①包括 ②調査
◆応募総数40通中、正解39通

今月のテーマ「来年はこんなことに挑戦!」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

今月の問題

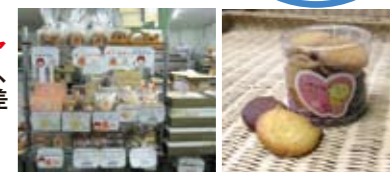
- 次の□に入ることばを、それぞれお答えください。
- ①地球とお財布にやさしい□ドライブをはじめましょう。
 - ②平成23年度版「熊谷市□のカレンダー」掲載作品を公募します。

今月のプレゼント

くまがや小麦の会ご提供の、**ニャオざねサブレ(10枚入り)**を、正解者の中から抽選で**20人**に差し上げます。

くまがや小麦の会

所在地:中奈良1797-1 電話:048-521-0026 <http://www.kumagayakomuginokai.jp/>





全国大会に出品する作品の手入れをする野村さん(ご自宅にて)

60歳を過ぎ菊作りを再開
昔、親父が菊作りをしてたのを、いつも手伝っていたね。高校生の時には、菊作りの要領は大体抑えてましたよ。うちは農家ですけど、60歳を過ぎて少し時間ができたんで、「何か趣味を」と思っ、昔親しんだ菊作りを始めてみることにしたんです。
知り合いから「60を過ぎてから見る夢は本当の夢だ」と言われたことがあるんだだけ

情熱世代 夢追い人

菊作りで三度の日本一 なおも湧き上がる 菊への情熱

菊作り名人 めぬま菊花会会長
野村好輝さん(妻沼小島)



ど、それからはいろんな人に教えを請うて、15年間菊作り一筋です。
どこにいても菊のことが気になる
一番得意なのは、大きく垂れ下がる「懸崖」という作品。大きいのを育てるには、日照を管理して開花時期を遅らせる技術が必要で、これが手間がかかる。それに気温、水やり、施肥など、菊作りは、365日気が抜けないんです。それに、熊谷の夏は特に暑いんですよ。菊のことが常に気になって、なかなか遠出もできないんですよ。
ロイヤルボックス席の菊花を手がける
今までで一番の経験は、平成16年の埼玉国体のとき、埼玉県菊花連盟からの依頼で、天皇・皇后両陛下が開会式でお座りになった「ロイヤルボックス席」を飾る菊を一人の名人、原井の横塚姚子さんと一緒に40本を作り

ました。しかも、開会式当日に必ず花を咲かせなくては行けなくて、絶対に失敗できないから、あの時はとにかく菊作りを勉強し直しましたよ。あの成功は自信になりましたし、何よりうれしかったです。その翌年から、日本菊花全国大会への出品を始めました。「特作花壇の部」に初出品したところ、いきなり日本一の「内閣総理大臣賞」となり、そりやもう感激しましたよ。翌年の平成18年、そして平成20年と、今までに3回日本一になりましたが、全国大会への出品は可能な限り続けていくつもりです。

春は「桜」、秋は「菊」のまに
「めぬま菊花会」では、毎年11月に聖天様でめぬま菊花大会を行っていただきます。熊谷は「春の桜」で有名ですが、「秋の菊」も名物にできないかと、みんな頑張っています。私も、今まで誰も作ったことのないほど大きく、美しい懸崖を作りたいと本気で思っています。今年「めぬまの菊」を見に、ぜひとも聖天様へ足を運んでください。

野村さんの見事な菊作りに外務省も注目

外務省発行の、日本の古典的美術を海外に紹介するための広報誌「にほにか」第2号で、野村さんの菊作りが紹介される予定です。

新連載

よみがえる彩色

歡喜院聖天堂

「妻沼の聖天さま」として親しまれる妻沼聖天山。来年6月には、本殿の聖天堂が7年をかけた修理工事を終え、ついに250年前の創建当時の姿を表します。そこで、今月から数回にわたり、妻沼聖天山や聖天堂についてご紹介していきます。

第1回 「境内のみどころ紹介」

境内に入り、始めにお目見えする大きな門、**貴惣門**(国指定重要文化財)をくぐり、参道を進むと右手に見えてくる老武者の像は、熊谷直実や畠山重忠と並ぶ、源平合戦の英雄で、聖天山を開いたとされる**齋藤別当実盛**です。若者に侮られまいと白髪を染めて最期の戦いへのぞむ場面は有名で、戦前の小学校の唱歌にもなりました。

さらに進むと、**四脚門**(市指定文化財)が現れます。聖天山は数多く火災に遭っていますが、四脚門は一番古くから残った建物で、400年近く前の姿を残します。

境内に散在する石碑にも注目です。境内の南にある**歡喜院前の板碑**(県指定文化財)は、鎌倉時代のもので、長野県の善光寺の仏像を彫った珍しいものです。

四脚門、さらに**仁王門**をくぐると眼の前には、現在保存修理が大詰め聖天堂(国指定重要文化財)が姿を現します。仁王門の左右に立つ**金剛力士像**は、市内でよく見かける防犯ポスター「監視の目」のモデルです。貴惣門と聖天堂については、次号で詳しくご案内します。

◆社会教育課 市史編さん室 ☎ 048-567-0355



齋藤別当実盛像

人口と世帯

●平成22年10月1日現在(対前月比)
■人口 205,424人(-21) 男 102,689人(+22) 女 102,735人(-43) ■世帯 82,133(+39)

「市報くまがや」11月号は、72,000部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり16円です。「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

発行日 平成22年11月1日 ●発行 熊谷市
編集 広報広聴課 〒360-8601 熊谷市宮町二丁目47番地1
☎ 048-524-1111(内線2006) ☎ 048-520-2870

「市報くまがや」は、毎月1日(原則)に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧いただけます。(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>